

# レポジトリー開示資料の撮影・提出方法等について

2歳版(トレーニングセール)

## 1. 四肢レントゲン写真

### 【各部位における撮影方向と目的部位】

他市場の状況や過去の検査結果を参考に精査してきた結果を踏まえ、レポジトリー撮影従事者の安全確保の観点からも、市場業務規程第4条第2項に基づいて販売申込者が提出することができる当該馬の四肢レントゲン写真より 両膝関節(後膝)の【屈曲】外-内側方向 のレントゲンを除外することとなりました。レントゲン写真の提出は22枚の基本部位または28枚のセットにて提出願います。

購買者による落札後検査での 両膝関節(後膝)の【屈曲】外-内側方向 のレントゲン撮影において、軟骨下骨嚢胞が発見された場合であっても、市場業務規程第24条に基づく売買契約解除の申し出はできません。

- ・ レントゲン写真は、左右が明確に識別できるレントゲンマーカーを装着して撮影してください。(カセットの背-掌(底)側像は外側、外内側像は頭側、斜位像は頭・外側のどちらか)
- ・ アップロードの際は、下記の番号に合わせ部位の指定を行ってください。

### 【基本部位 22枚】

- 左前肢球節 1)~ 4)
  - 1)背-掌(底)側方向 第3中手(足)-第1指(趾)関節  
水平から約10~20度打ち下ろしの投射方向で
  - 2)外-内側方向 第3中手(足)骨遠位矢状稜・第1指(趾)骨近位
  - 3)背外-掌(底)内側方向 外側近位種子骨・第1指(趾)骨近位内側
  - 4)背内-掌(底)外側方向 内側近位種子骨・第1指(趾)骨近位外側
- 左手根関節 5)~ 7)
  - 5)外-内側方向
  - 6)背外-掌内側方向 橈側手根骨・第3手根骨内側・第4手根骨
  - 7)背内-掌外側方向 中間手根骨・第3手根骨外側・第2手根骨
- 右前肢球節 8)~11)
  - 8)背-掌(底)側方向 第3中手(足)-第1指(趾)関節  
水平から約10~20度打ち下ろしの投射方向で
  - 9)外-内側方向 第3中手(足)骨遠位矢状稜・第1指(趾)骨近位
  - 10)背外-掌(底)内側方向 外側近位種子骨・第1指(趾)骨近位内側
  - 11)背内-掌(底)外側方向 内側近位種子骨・第1指(趾)骨近位外側
- 右手根関節 12)~14)
  - 12)外-内側方向
  - 13)背外-掌内側方向 橈側手根骨・第3手根骨内側・第4手根骨
  - 14)背内-掌外側方向 中間手根骨・第3手根骨外側・第2手根骨
- 左後肢球節 15)~18)
  - 15)背-掌(底)側方向 第3中手(足)-第1指(趾)関節  
水平から約10~20度打ち下ろしの投射方向で
  - 16)外-内側方向 第3中手(足)骨遠位矢状稜・第1指(趾)骨近位
  - 17)背外-掌(底)内側方向 外側近位種子骨・第1指(趾)骨近位内側
  - 18)背内-掌(底)外側方向 内側近位種子骨・第1指(趾)骨近位外側
- 右後肢球節 19)~22)
  - 19)背-掌(底)側方向 第3中手(足)-第1指(趾)関節  
水平から約10~20度打ち下ろしの投射方向で
  - 20)外-内側方向 第3中手(足)骨遠位矢状稜・第1指(趾)骨近位
  - 21)背外-掌(底)内側方向 外側近位種子骨・第1指(趾)骨近位内側
  - 22)背内-掌(底)外側方向 内側近位種子骨・第1指(趾)骨近位外側

## 【膝関節(後肢) 6枚】

### □ 左膝関節 23)~25)

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 23)尾-頭側方向   | 大腿骨遠位内側顆・外側顆 脛骨顆間結節     |
| 24)外-内側方向   | 膝蓋骨・大腿骨遠位外側滑車・内側滑車 脛骨近位 |
| 25)尾外-頭内側方向 | 大腿骨遠位外側滑車・大腿骨遠位内側顆・膝蓋骨  |

### □ 右膝関節 26)~28)

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 26)尾-頭側方向   | 大腿骨遠位内側顆・外側顆 脛骨顆間結節     |
| 27)外-内側方向   | 膝蓋骨・大腿骨遠位外側滑車・内側滑車 脛骨近位 |
| 28)尾外-頭内側方向 | 大腿骨遠位外側滑車・大腿骨遠位内側顆・膝蓋骨  |

※【膝関節(後肢)】(6枚)のみの提出は出来ません。提出は22枚または28枚のセットで提出願います。

## 2. 上部気道内視鏡動画

### 【内視鏡検査の方法】

- ・ マイクロチップ読み込みによる個体確認をお願いします。
- ・ 人馬の安全のために鎮静剤を使用した場合は、鎮静剤の薬品名と用量を明記してください。
- ・ 安静時立位にて行い、鼻捻子で保定してください。
- ・ 喉頭の動画を撮影する際は、始めにメモカットと撮影馬の顔の判別が出来るよう3秒以上撮影し開始してください。
- ・ 内視鏡は右鼻腔より挿入し、喉頭の動画は喉頭蓋を含めた画像を撮影してください。
- ・ 披裂軟骨の外反運動を確認するために、左右の披裂軟骨小角突起の外反運動を少なくとも3回以上明瞭に観察出来るように撮影を行ってください。目安として1分程度で撮影してください。
- ・ 北海道市場で作成した専用のメモカット(HPにて配布)を使用し撮影を行ってください。その際に、内視鏡モニター画面内に撮影日時が正しく表示されているかを必ず確認してください。※専用のメモカットが準備出来ない場合は、別途メモカット(市場名・上場番号・馬名・販売申込者・撮影月日を記入)を準備し撮影を行ってください。
- ・ 撮影した動画の編集は行わないでください。

## 3. 提出方法

- ・ 資料の提出は、撮影獣医師へ直接依頼してください。撮影獣医師が専用のアプリケーションを使用して、撮影データをオンラインレポジトリーにアップロードし提出するものとします。(DVD等メディアやレントゲンフィルムでの提出は出来ません。)
  - ・ 別紙記載の撮影有効期間及び提出期限を厳守頂きますようお願い致します。
- ※ 撮影方法と異なる資料が提出された場合(角度が違うなど)は再提出を依頼する場合があります。

## 4. 閲覧方法

- ・ 撮影獣医師より提出された内容についてご確認ください。閲覧には別途 ID とパスワードの登録が必要です。詳細については北海道市場 HP (<https://www.hba.or.jp/repository.html>) をご覧ください。

## 5. 注意事項

- ・ レントゲン撮影並びに上部気道内視鏡動画の撮影時には、マイクロチップ(MC)による個体確認をお願い致します。(MC番号は、個体確認の際に獣医師に提示出来るよう、予め「オンラインレポジトリー 資料提出に関する確認書」用紙控に記載しておき、スムーズに確認が行えるよう準備をお願い致します。)
- ・ 資料の提出にあたり、市場業務規程の売買契約解除の申し出事項に該当する重度の症状等が撮像されている場合には、かかりつけの獣医師と上場についてご相談頂きますようお願い致します。
- ・ ご提出頂きました資料は、閲覧期間のみ公開致します。期間外の閲覧の申し出には応じられませんので、予めご了承願います。
- ・ 別紙「オンラインレポジトリー 資料提出に関する確認書」の提出をお願い致します。確認書が未提出等、提出内容の確認がとれない場合、資料の公開は致しませんのでご注意ください。

ご不明な点は 日高軽種馬農協 北海道市場事業部(TEL:0146-45-2133)までお願い致します。